

## 一般社団法人日本体力医学会評議員申請要項

令和2年度より評議員選考内規が下記のように改定され、選考基準が若干緩和されましたので、お目通しの上評議員の資格を満たすと思われる候補者については奮って推薦・申請いただくようお願い申し上げます。

なお、現学会員数3,549名（男性2,493名、女性813名、男女比＝70.2：23.0）、現評議員数511名（男性442名、女性64名、男女比＝86.5：12.5）につき、とくに女性評議員の比率増加に努めておりますのでご協力の程お願い申し上げます。

I. 申請資格：下記、**評議員選考内規**をご参照下さい。

### ◎日本体力医学会評議員選考委員会評議員選考内規

昭和62年10月7日改定  
平成6年11月18日改定  
平成24年7月20日改定  
平成28年8月26日改定  
令和2年2月21日改定

1. 評議員候補者は、通算7年以上の正会員歴を有していなければならない。
2. 評議員候補者は、7年以上の研究歴を有し、体力医学、運動生理学、スポーツ医学などに関する十分な研究業績の著書、学術論文などの業績発表を有していなければならない。
3. 評議員候補者は、評議員3名の推薦をうけて、入会年月日を明記した履歴書および業績目録を添えて、評議員会開催2カ月前迄に評議員選考委員会に申請しなければならない。
4. 日本体力医学会の学会運営に必要と認められるものは、必ずしも上記条件を満たしていなくとも評議員選考委員会の議を経て、その推薦により評議員候補者となることができる。
5. 評議員選考委員会は、推薦された評議員候補者を審議し、評議員の資格を有すると認められたものを、理事会へ報告し、評議員会に推薦する。

### 付 則

- 1) 体力医学に関係する領域の学会で評議員を務めるかこの領域で博士の学位を取得しており、内規2を満たす研究歴と研究業績を認め、本学会の正会員歴が4年以上継続している場合には、評議員に推薦することができる。
- 2) 日本体力医学会より授与された日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を有しており、内規2を満たす研究歴と研究業績を認め、本学会の正会員歴が4年以上継続している場合には、評議員に推薦することができる。
- 3) 研究業績については、原則として、体力医学に関係する審査を受けた学術論文（原著論文、総説、短報、など）を筆頭著者として3編以上発表していることを基準として、評議員選考委員会で審議する。
- 4) 体力医学に関係する学会の学術大会等で大会長や組織委員会等より指名を受けた指定演題（特別講演、シンポジウム等）の口演発表を行った場合には、付則3)の審査を受けた学術論文の1編と同等の研究業績として評価し、評議員選考委員会で審議する。
- 5) 申請書類の送付先は 一般社団法人 学会支援機構内 日本体力医学会評議員選考委員会とする。

II. 申請手続きについて

下記書類をHPの評議員申請 (<http://www.jspfsm.umin.ne.jp/councilor/index.htm>) からダウンロードの上、ご記入・ご提出下さい。

- 1) 評議員推薦書（評議員 3 名の氏名と会員番号が必要です）
- 2) 履歴書
- 3) 研究業績

# 申請書類の書式に不備があると審査不可として再提出を依頼する事があるので、規定に則て正確に記載して下さい。

### Ⅲ. 承認までの流れについて

- ①評議員申請書受付締め切り：2022年7月20日
- ②提出期間満了後に評議員選考委員会で確認・選考を行う。
- ③本年9月に開催予定の理事会および評議員会総会において報告・承認を行う。

### ■申請書提出先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4階  
学会支援機構内  
一般社団法人日本体力医学会評議員選考委員会  
Tel：03-5981-6015（学会専用） Fax：03-5981-6012（学会支援機構）  
E-mail：jspfsm@asas-mail.jp

評議員選考委員会 委員長 大野 誠

## 一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2021年11月）議事録

日時：2021年11月19日（金）午後5時30分～6時30分

場所：ZoomによるWeb会議

議長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登理事長、

碓井外幸、西平賀昭各副理事長、

武政 徹常務理事、赤間高雄、井福裕俊、

太田 真、大野 誠、栗原 敏、後藤勝正、

小山勝弘、下光輝一、須田和裕、須永美歌子、

竹森 重、田中喜代次、中里浩一、永富良一、

成田和穂、前田清司、宮内 卓、宮川俊平、

和気秀文各理事、清田 寛、定本朋子各監事、

加藤 公第76回大会長

欠席者：新開省二、浜岡隆文各理事、

井上 茂、小林康孝各監事、

小橋 元第77回大会長

### 【審議事項】

#### 1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

理事会終了時までに訂正等がなかった場合には、自動的に承認されることにした。

#### 2. シニア会員候補者について（武政総務委員長）

資料に基づき、シニア会員の申請資格対象者が報告され、審議の結果、承認された。昨年同様の通知方法により、事務局から「シニア会員のご案内」を対象者へ個別メールまたは郵送にて連絡を行うこととなった。

#### 3. その他

##### 1) 学会賞選考委員会委員の欠員について

（前田学会賞選考委員長）

学会賞選考委員会委員の1名が、本学会退会により欠員することとなった。これについて、現委員数での選考に支障が無いため、欠員した委員の補充は行わないことが提案され、審議の結果、承認された。

##### 2) 日本医学会への活動報告ダイジェスト版について

（鈴木理事長）

資料に基づき、6月に日本医学会へ提出した学会の活動報告書について、日本医学会のホームページに掲載するダイジェスト版の執筆を依頼され、承諾し、原稿を提出したことが報告された。

### 【報告事項】

#### 1. 各種委員会報告

##### 1) 総務委員会（武政総務委員長）

2024年度に開催予定の佐賀大会について、現在、大会長と開催場所の選定が行われている旨、報告された。

##### 2) 編集委員会（後藤編集委員長）

資料に基づき、「JPFMSM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況が報告された。

（1）「JPFMSM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況  
＜投稿状況＞

（2021年9月1日～2021年10月31日）

「JPFMSM」誌：新規投稿16編（内海外4編）

※前年同期間：新規投稿11編（内海外1編）

10/31現在、審査中11編（2021/9/3～10/31投稿分）

「体力科学」誌：新規投稿8編

※前年同期間：新規投稿9編

10/31現在、審査中11編（2021/5/24～10/31投稿分）

＜掲載予定＞

「JPFMSM」誌

○Vol. 10, No. 6（2021年11月25日発行）

Proceedings 479編（予稿集掲載分 650編）

○Vol. 11, No. 1（2022年1月25日発行）

Regular Article 6編, Short Communication 1編

○Vol. 11, No. 2（2022年3月25日発行）

特集号『Physical Fitness Matter: epidemiology & measurement』

Short Review 1編, Regular Article 1編、

他7編予定

○Vol. 11, No. 3（2022年5月25日発行）

Regular Article 7編

「体力科学」誌

○Vol. 70, No. 6（2021年12月1日発行）

原著4編, 資料1編

○Vol. 71, No. 1（2022年2月1日発行）

大会指定演題

○Vol. 71, No. 2（2022年4月1日発行）

特集号『骨盤底筋エクササイズ Exercise for pelvic floor muscles』5編予定

#### （2）Preprints「JPFMSM」誌の投稿規程改訂

（改訂日：2021年10月1日）

「プレプリントサーバーで公開された論文を投稿する際は、プレプリント公開についての情報（登録サーバーとDOI）を開示すること。」を追加した。

※Editorial Managerの投稿フォーム「Questionnaire Responses」にも追加した。

#### （3）JPFMSMのホームページ[Online First]に著者版の全文PDFを掲載（2021年10月21日）

早期公開の要望があり、[Online First]に著者版の全文PDFを掲載することとした。

（採択後、J-STAGEの本公開まで）

また、科学技術振興機構（JST）より、J-STAGE

ニュースに「JPFMSM」を取り上げてもらうこととなり、インタビュー取材を受けた旨、報告があった。尚、

初校原稿がJ-STAGEより送付され、鈴木理事長及び編集事務局での校正後、掲載することとなった。尚、鈴木理事長より、この記事がJ-STAGE

ニュースに掲載後、本学会HPに掲載することが提案され、了承された。

了承された。

#### 3) 学術委員会（碓井学術委員長）

資料に基づき、健康スポーツ医をはじめとした関係者及び運動による健康増進を積極的に進めていく

目的により発行予定の、日本医師会主導「（仮）関係者の連携推進と臨床に役立つテキスト」において、発行元である文光堂より、「日本体力医学会健康科学

アドバイザー」の資格についての執筆を依頼され、承諾し、原稿を提出したことが報告された。

## 4) スポーツ医学研修会委員会

(中里スポーツ医学研修会委員長)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年及び2021年に中止となったスポーツ医学研修会は、開催施設やWeb等での開催方法を勘案し、2022年の実施を検討していることが報告された。

## 5) 渉外委員会 (永富渉外委員長)

ECSS Sevilla 2022におけるECSS交流シンポジウムの企画公募について、学会ホームページに概要を掲載し、募集を受け付けている旨、報告された。また、日本医学会からの領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたワーキンググループのアンケートについて調査依頼があり、取りまとめている旨、報告された。

## 6) 男女共同参画推進委員会

(須永男女共同参画推進委員長)

資料に基づき、男女共同参画学協会連絡会から、学会員の男女比率状況のアンケート調査依頼があり、調査書を提出した旨、報告された。また、10月21日に全学会員へメール配信した、男女共同参画実

態調査の大規模アンケートについて、回答の状況と、実施期間延長に伴い、再度メール配信を行い、アンケートを実施することが報告された。

## 7) 利益相反委員会 (須田利益相反委員長)

日本医学会より、利益相反マネジメントの現状についてのアンケート調査の依頼があり、学会誌の編集及び掲載に関わる編集委員会とともに回答書を作成し、提出したことが報告された。

## 2. 第76回(三重)大会の報告(加藤第76回大会長)

加藤大会長より、資料に基づき、以下の事項について報告された。

- ・参加人数：1,315名
- ・発表演題数：452題
- ・ログイン数：8,364件
- ・演題閲覧数：64,167件

尚、大会開催費用については支払いを済ませ、税理士による監査終了後、次回理事会で大会の収支報告をする予定である。

## 2022年度スポーツ医学研修会の中止について

拝啓 時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の件につきまして、学術委員会・スポーツ医学研修会委員会および理事会における審議結果に基づき、昨年同様、「本研修会中止」が決定されましたので、お伝えいたします。

いまだに新型コロナウイルス感染者が増加しており終息の見通しが立っていません。今年度もこれまでに引き続きスポーツ医学研修会会場として日本体育大学の施設をお借りする予定でしたが、日体大では外部団体からの施設利用申し込みは現在受け付けておらず、何時から受けつけるかの見通しも立っていません。このような状況下では参加者募集および研修会開催は不可能と判断されました。

上記のような状況を鑑み、2022年度のスポーツ医学研修会の開催は中止とさせていただきます。

スポーツ医学研修会委員会 委員長 中里 浩一

## 第88回日本体力医学会中国・四国地方会のご案内

期 日：令和4年6月11日(土)、12日(日)

会 場：広島工業大学

三宅の森Nexus21 (10Fスカイテリア)

(〒731-5193 広島県広島市佐伯区三宅2-1-1)

プログラム

1 日目：令和4年6月11日(土)

12時50分～13時30分 受付

13時00分～13時30分 幹事会

13時35分～13時40分 挨拶

13時45分～16時00分 研究発表(1)

※若手優秀発表賞候補の研究発表を予定

16時15分～17時20分

特別講演『見守りとIoT』

講師：榎 弘倫先生(広島工業大学生命学部 准教授)

19時00分～21時00分

情報交換会・若手優秀発表賞授賞式

(広島サンプラザ)

2 日目：令和4年6月12日(日)

8時45分～9時00分 受付

9時00分～12時00分 研究発表(2)

12時00分～12時30分 総会

※演題数により変更になる場合があります。

※社会情勢により会場の変更あるいはオンラインでの実施となる可能性もあります。

### ○学会参加・発表演題申し込み及び予稿集原稿

学会への参加申し込み・演題申し込みは、**5月23日(月)**までにGoogle Formにてお願いいたします。Google Formでの申し込みは、以下のURLから受け付けております。

URL：<https://forms.gle/3fJx4RryJEtELMM98>

研究発表を申込みされた場合には、予稿集原稿の提出が必要となります。**5月30日(月)必着**とし、E-mail(Word添付書類)にてご提出ください。原稿はA4用紙2枚に上下左右の余白を2cm取り、タイトルは18ポイント、所属・氏名・本文は12ポイントで作成してください。発表者が複数の場合は、演者の前に○印を付けてください。添付されたWord書類はこちらで印刷します。こちらで微調整させて頂く場合がありますのでご了承ください。

### ○若手優秀発表賞の対象について

若手優秀発表賞の対象は、1)大学あるいは大学院に所属している学部学生及び大学院生、2)体力医学会の正会員、3)土曜日に発表可能であることの3つを満たす者とし、エントリーを希望する方は、演題申し込みの際に該当する項目を選択してください。

### ○学会参加費

会員：1,000円、非会員：2,000円、

学生及び大学院生：無料

※学会開催形式により参加費が変更となる可能性があります。

### ○対面での学会参加について

学会に参加される方は、学会当日の感染対策(検温・手指消毒・マスクの着用など)にご協力ください。また、発熱や体調不良、風邪症状のある方や本人または

同居の家族が濃厚接触者あるいはその可能性がある場合には、学会への参加をご遠慮ください。なお、今後の感染状況によっては、1週間の行動記録等を求めることがあります。

### ○健康運動指導士及び健康運動実践指導者の方へ

健康運動指導士・健康運動実践指導者の登録更新単位は健康・体力づくり事業財団へ個別申請をしてください。

【学会参加における個別単位申請について】

[https://www.health-net.or.jp/shikaku/syoyuusya/pdf/gakkaitani\\_kojin\\_210112.pdf](https://www.health-net.or.jp/shikaku/syoyuusya/pdf/gakkaitani_kojin_210112.pdf)

### ○情報交換会

会場：広島サンプラザ

(〒733-0833 広島市西区商工センター 3-1-1)

電話番号 082-278-5000

会費：6,000円(学生・大学院生：4,000円)

・会費の支払いは、学会当日受付にてお願いします。  
・検温、手指消毒、アクリル板の設置等、感染対策を行ったうえで実施します。今後の感染状況によって、中止となる可能性がございます。

※地図は、以下のURLでご確認ください。

<https://www.hiroshima-sunplaza.com/access.html>

### ○一般発表について

・発表時間は10分、質疑応答4分の計14分間とします(演題数によって変更有)。

・発表は、パソコンの画面映写とします。プロジェクターはこちらで準備します。

・事務局で準備するパソコンのOS及びアプリケーションは以下の通りです。

OS：Windows 11、

アプリケーション：Power Point 2021

※Macintosh本体の用意はいたしません。

・ご自身のパソコンを持ち込まれて発表されても構いませんが、ケーブル接続等の作業につきましても発表者ご自身でお願いします(※HDMI端子あり)。

・Macintoshご利用の場合は、プロジェクターとの接続に変換ケーブルが必要です(変換ケーブルの種類は機種によって異なります)。ケーブルは発表者が必ずご持参ください。

学会参加・演題申し込み、

予稿集原稿提出先・問い合わせ等

広島工業大学 生命学部 生体医工学科 玉里祐太郎 宛

TEL：082-921-4327(直通)

E-mail：[y.tamari.nf@cc.it-hiroshima.ac.jp](mailto:y.tamari.nf@cc.it-hiroshima.ac.jp)

### ○会場案内

広島工業大学

(〒731-5193 広島県広島市佐伯区三宅2-1-1)

ホームページ：

<https://www.it-hiroshima.ac.jp/access/itsukaichi/>  
大学構内の駐車場は無料にてご利用いただけます。

※駐車スペースには限りがあります。乗り合わせでのご来学にご協力をお願いいたします。

※JR五日市駅をご利用の場合、タクシーで約12分間(約900円)程度です。

※岡山方面から自家用車で来られる場合は、五日市インターを降りられるのが便利です。五日市インターから石内バイパスを経由し、大学までお車で30分程度です。

#### ○宿泊施設

大学周辺の宿泊施設は限られております。情報交換会の会場である広島サンプラザに宿泊していただくのが便利です。宿泊の手配は、各自でお願いいたします。なお、宿泊施設を仮予約しております。電話で予約される際には、まず日本体力医学会中国・四国地方会の参加者であることをお伝えください。情報交換会が予定通り開催された場合に限り、割引料金のサービスを受けることができます。

#### ○学会誌「体力科学」への投稿原稿

学会誌「体力科学」への掲載用原稿は、地方会事務

局がとりまとめ、学会誌編集事務局へ送付します。下記の書式に従いE-mailにて6月24日(金)【必着】までに地方会事務局へお送りください。なお、筆頭著者が非学会員の場合、抄録掲載料は1演題あたり3,000円となります。抄録掲載料の支払いは、学会当日受付にてお願いいたします。

掲載原稿送付先：

jspfsm@mw.kawasaki-m.ac.jp (地方会事務局)  
(提出原稿書式)

- 1) 演題名, 発表者氏名, 所属機関名, 本文の順にお書きください。
- 2) 演題名, 発表者氏名, 所属機関名を含む文字数が、900字以内になるよう作成して下さい。
- 3) 図表は認められません。

## 第3回日本体力医学会北九州地方会のご案内

テーマ：科学的エビデンスの創出と実践の循環

日時：2022年6月19日(日) 9:00~12:35

会場：オンライン開催 (Zoomによるリアルタイム開催・オンデマンド配信なし)

参加費：無料 ※本地方会以外の会員および非会員(大学院生・ゼミ生等)も無料で参加可

会長：長野真弓 (福岡女子大学国際文理学部)

進行：中原雄一 (福岡県立大学人間社会学部)

#### 【プログラム】

1. 開会挨拶 (9:00~9:05)  
長野真弓 (学術集会会長, 日本体力医学会北九州地方会代表, 福岡女子大学国際文理学部)
2. 教育講演 (9:05~9:55)  
「労働者における身体活動・座位行動のエビデンスとナッジを介した実践」  
座長：庄野菜穂子 (西九州大学健康福祉学部)  
演者：甲斐裕子 (公益財団法人 明治安田厚生事業団 体力医学研究所 上席研究員)  
休憩 9:55~10:00
3. 特別講演 (10:00~10:50)  
「プロスポーツ・eスポーツへの認知行動科学の応用」  
座長：山津幸司 (佐賀大学教育学部)  
演者：磯貝浩久 (九州産業大学人間科学部・福岡eスポーツリサーチコンソーシアム：FeRC)  
休憩 10:50~11:00

4. シンポジウム (11:00~12:30)  
「異分野間での課題の共有 ~子どものスクリーンタイムをめぐって~」  
座長・話題提供：長野真弓 (福岡女子大学)  
11:00~11:10  
S-1：教育現場の視点から  
笹山健作 (三重大学) 11:10~11:30  
S-2：eスポーツの視点から  
斎藤嘉子 (九州工業大学) 11:30~11:50  
S-3：臨床の視点から  
神崎保孝 (東京大学・臨床心理士)  
11:50~12:10  
質疑応答・ディスカッション 12:10~12:30

5. 閉会挨拶 (12:30~12:35)

#### 【参加要領】

本学術集会にアクセスするURLなどの情報の送付のため、事前の参加登録が必要です。

下記のリンクからFormsにアクセスし、お申込みください。

**参加登録期限：2022年6月10日(金) 17:00**

※当日の参加登録はできません。

お申込みはこちらから↓

<https://forms.gle/17A52LiYUiZcLiMM7>

お問い合わせ先：m-nagano@fwu.ac.jp  
(会長・事務局長 長野真弓)

## 第27回バイオメカニズム・シンポジウムin浜名湖 ～筋のサイエンス再構築に挑む～

会 期 2022年8月30日(火)～9月1日(木)  
 会 場 Daiwa Royal Hotel THE HAMANAKO  
 (静岡県浜松市西区雄踏町山崎4396-1)  
 大会長 金 承革(常葉大学健康科学部静岡理学療法学科)  
 主 催 バイオメカニズム学会(SOBIM Japan)  
 夜 話 「骨格筋の分泌と再生機能に関するナイト・サイエンス」  
 講師：藤井宣晴 教授  
 (東京都立大学人間健康科学研究科ヘル  
 スプロモーションサイエンス学域)

宿泊申込締切 2022年7月1日(金)  
 予稿集原稿締切 2022年5月20日(金)  
 参加申込締切 2022年7月15日(金)  
 大会ウェブサイト <http://sobim-conf.com/s2022/>

副大会長 金井 章  
 プログラム委員長 金井 章  
 実行委員

易 強, 木塚朝博, 栗田泰成, 鈴木里砂, 塚本敏也,  
 長谷和徳, 長谷川秀隆, 花田高彬, 宮崎彰吾,  
 山田 洋(五十音順)

シンポジウム事務局  
 栗田泰成(常葉大学健康科学部静岡理学療法学科)  
 E-mail: [bms27th@gmail.com](mailto:bms27th@gmail.com)

### 【協賛団体(予定)】

計測自動制御学会, システム制御情報学会, 情報処理学会, 人工知能学会, 人体科学会, 精密工学会, 電気学会, 電子情報通信学会, 日本運動生理学会, 日本看護科学学会, 日本看護技術学会, 日本看護研究学会, 日本機械学会, 日本義肢装具学会, 日本義肢装具士協会, 日本建築学会, 日本作業療法士協会, 日本シミュレーション学会, 日本写真測量学会, 日本人工臓器学会, 日本人類学会, 日本生活支援工学会, 日本整形外科学会, 日本生体医工学会, 日本生理学会, 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本体力医学会, 日本人間工学会, 日本バイオマテリアル学会, 日本バイオメカニクス学会, 日本福祉のまちづくり学会, 日本補綴歯科学会, 日本理学療法士協会, 日本リハビリテーション医学会, 日本リハビリテーション看護学会, 日本リハビリテーション工学協会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本臨床神経生理学会, 日本臨床バイオメカニクス学会, 日本ロボット学会, 日本ロボット工業会, ヒューマンインタフェース学会, ライフサポート学会, 臨床歩行分析研究会, IEEE EMBS Japan Chapter, IEEE EMBS West Japan Chapter

## 第43回バイオメカニズム学術講演会 (SOBIM2022 in 仙台)

### ～社会にインパクトのあるバイオメカニズム～

－ 開催案内 －

主催：バイオメカニズム学会  
 会期：2022年11月26日(土)～11月27日(日)  
 会場：東北大学星陵キャンパス  
 (宮城県仙台市青葉区星陵町2-1)

JR仙台駅から市営地下鉄を利用する場合  
 市営地下鉄南北線「泉中央方面」に乗りし、『北四番  
 丁駅』で下車→北2口より徒歩約15分

#### ●実行委員会

実行委員長 永富良一 (東北大学)  
 副実行委員長 出江紳一 (東北大学)  
 プログラム委員長 渡邊高志 (東北大学)  
 事務局長 門間陽樹 (東北大学)  
 実行委員 佐々木 誠 (岩手大学)  
 関川伸哉 (東北福祉大学)  
 山口 健 (東北大学)

Web担当 長濱峻介 (京都先端科学大学)  
 2023年度学術講演会委員 (第44回学術講演会担当)  
 常任理事・事業担当 木塚朝博 (筑波大学体育系)

#### ●講演会内容 (予定)

・基調講演  
 ・シンポジウム  
 ・オーガナイズドセッション  
 ・ランチョンセミナー  
 ・一般講演  
 ・機器展示

準備中

#### ●一般演題発表募集 (予定)

講演申込締切 2022年7月4日(月)  
 採否連絡 2022年8月8日(月)  
 原稿投稿締切 2021年10月3日(月)

#### ●企業展示・広告募集締切 (予定) 2022年10月3日(月)

#### ●事前参加登録締切 (予定) 2022年10月3日(月)

#### ●会場までの交通機関

JR仙台駅から仙台市営バスを利用する場合  
 JR仙台駅から仙台市営バスで『東北大学病院前行  
 き』約15分

#### ●第43回バイオメカニズム学術講演会運営事務局

〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1  
 東北大学大学院医学系研究科運動学分野  
 門間陽樹 (もんまはるき)  
 E-mail: sobim2022@gmail.com  
 学術講演会WEB: 4月上旬公開予定

#### ●協賛団体 (予定)

計測自動制御学会, システム制御情報学会, 情報処理  
 学会, 人工知能学会, 人体科学会, 精密工学会, 電気  
 学会, 電子情報通信学会, 日本運動生理学会, 日本看  
 護科学学会, 日本看護技術学会, 日本看護研究学会,  
 日本機械学会, 日本義肢装具学会, 日本義肢装具士協  
 会, 日本建築学会, 日本作業療法士協会, 日本シミュ  
 レーション学会, 日本写真測量学会, 日本人工臓器学  
 会, 日本人類学会, 日本生活支援工学会, 日本整形外  
 科学会, 日本生体医工学会, 日本生理学会, 日本体育・  
 スポーツ・健康学会, 日本体力医学会, 日本人間工学  
 会, 日本バイオマテリアル学会, 日本バイオメカニク  
 ス学会, 日本福祉のまちづくり学会, 日本補綴歯科学  
 会, 日本理学療法士協会, 日本リハビリテーション医  
 学会, 日本リハビリテーション看護学会, 日本リハビ  
 リテーション工学協会, 日本臨床スポーツ医学会, 日  
 本臨床神経生理学会, 日本臨床バイオメカニクス学  
 会, 日本ロボット学会, 日本ロボット工業会, ヒュー  
 マンインタフェース学会, ライフサポート学会, 臨床  
 歩行分析研究会, IEEE EMBS Japan Chapter, IEEE  
 EMBS West Japan Chapter



## 編 集 後 記

まだ寒さは続いているが、長かった冬もそろそろ終わろうとしている。今シーズンは関東地方の平野部でも数度の積雪があり、路面凍結による首都高速などでの自動車の立ち往生も度々ニュースになった。私は冬の間に時々、夜明け前から山に分け入り、野生動物を求めて一日中山を歩き回ることがある。山中に潜む野生動物の痕跡を探すには、視覚、嗅覚、聴覚からの情報が非常に重要で、特に積雪のない時期は聴覚からの情報が野生動物をいち早く見つけるために役に立つ。聴覚からの情報を得ようと立ち止まって耳を澄ますと、周辺環境からの音が全くない「真の静寂」が現代においても冬の山中にはあることに気がつく。今シーズンのように積雪が多い場合には、聴覚よりも視覚からの情報がより重要になる。雪に覆われた白い斜面と野生動物のコントラスト比が高いため動物を見つけやすく、また足跡などから動物の追跡が容易である。積雪時の山歩きには平時とは違った楽しみがある。

一方、中国の北京で行われた冬季オリンピックでは雪不足のため、スキー、スノーボードなどの会場の大半が人工雪だったそうだ。よくご存知のように、2020年の夏に予定されていた東京大会が、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行により2021年の夏に延期

されたため、オリンピックの夏季大会と冬季大会が短い間隔で続けて東アジアで開催された。この大会でもさまざまなドラマが生まれ、人々に感動を与えたのではないだろうか。また、カミラ・ワリエワ選手のドーピングにまつわる判例は今後のドーピング問題に大きな禍根を残しそうである。この編集後記を書いている今は冬季オリンピックが閉幕し、これからパラリンピックが開幕しようとしている。さて、パラリンピックではどのようなドラマが生まれるだろうか。

オリンピック・パラリンピックで最高のパフォーマンスを発揮するためには、選手自身の努力だけではなく、周囲のサポートが必要であることは言うまでもない。今回のオリンピックにおいてもさまざまなレベルでスポーツ医学を活用したサポートが行われており、多くの本学会会員もこのサポートに携わっている。これらサポートの成果報告の場としても、この体力科学誌をご活用いただければと考える。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックのレガシーを継承していくためにも、体力科学・スポーツ医学に関する国内最大の学会である本学会が果たす役割は非常に大きいだろう。

秋本崇之

### The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.71, No.2

#### 体 力 科 学 第71巻第2号

令和4年3月25日 印刷  
令和4年4月1日 発行

編集兼発行者  
発行所

後藤勝正  
一般社団法人日本体力医学会  
〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13  
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内  
TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012  
E-mail: jspfsm@asas-mail.jp

編集事務局

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1  
鶴岡印刷株式会社内  
TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120  
E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp

印刷所

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1  
鶴岡印刷株式会社